

岩手県から北海道へ

氏名 遠藤 ゆかり

岩手県立釜石祥雲支援学校 → 北海道拓北養護学校

(期間：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

1 岩手県の教育

○ いわての復興教育「いきる・かかわる・そなえる」

- ・岩手県では東日本大震災で学んだ教訓を語り継ぎ、未来につなげるために、県内全ての小・中・高・特別支援学校で、復興教育に取り組んでいる。復興教育の目的は、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（いきる・かかわる・そなえる）を育てることである。
 - ・『いきる』では、命の大切さや自然への畏敬の念、心のあり方やこれからの生き方などについて、『かかわる』では、家族や地域の一員としての喜びを共有し、互いに助け合ったり思い合ったりすることなどについて、『そなえる』では、災害への知識や防災について学び、どんな時でも生き抜く力と未来を切り拓き、社会を創造する力を育てている。
- 【参考：岩手県 HP「いわての復興教育」】

2 学校や地域の特色ある教育活動

○ 釜石祥雲支援学校の「かかわる」：釜石の伝統芸能である虎舞との関わり

- ・本校では、小学部、中学部、高等部、分教室の各学部で釜石の伝統芸能である「虎舞」の活動に取り組み、参観日や学部間交流、地域との交流会で披露したり、一緒に踊ったりして、伝統芸能の継承と地域との関わりに取り組んでいる。
- ・中学部では、2016年の希望郷いわて国体・いわて大会の岩手県選手団激励会、平成29年度からは地域の介護老人保健施設との交流会において虎舞を披露している。地元の方から虎舞を教わり、友達や先輩、後輩とペアを組んで一頭の虎を演じることで、人との関わりが広がり、相手の気持ちを考えて行動する力や地元への愛着心が育っている。



3 私が取り組んできた実践

○ 学級での「かかわる」：伝統芸能「虎舞」との関わり

【地元中学校との交流籍を活用した交流及び共同学習】

- ・それぞれの学校での取り組みとして、本校は虎舞、相手校はソーランを発表し、互いの活動への理解を深めた。

【美術の授業】

- ・日頃から慣れ親しんでいる虎舞を題材として、生徒達は思い思いに虎の表情を作り、張り子の虎を作製した。

